

病棟医長のご挨拶

鹿児島大学病院 心臓血管内科 病棟医長 田中(窪田)佳代子



昨年4月より病棟医長をさせていただいております。同時期に、長年当科病棟を支えてくださった寺内師長が異動となり、新しく消化器外科病棟より高見師長が就任され、新米コンビで病棟運営を行うようになりもうすぐ一年になります。

専門外来の充実に伴い、より専門的な加療が必要な症例が増え、病棟での診療体制も虚血性心疾患、不整脈、心不全、高血圧、肺循環とグループに大別し行っております。ここ数年入院日数の短縮や新入院患者数の増加が評価され、当科は26床から28床に増床になりましたので、地域の先生方からのご紹介により早く対応できるようになっております。また急患症例に対しては、ハートコールを通して直接ご連絡いただくことで救急外来、救急病棟で迅速に対応させていただいております。

一方で大学病院病棟は医学生や研修医の教育の場でもあります。5年生のポリクリ実習、6年生のクリニカルクラークシップ、初期研修医の受け入れ・・・など将来の鹿児島県の医療を支える若い先生方に内科、循環器科の面白さ、奥深さを感じてもらえるようレクチャーや実習を中心としたカリキュラムを組んでいます。

近年、大学病院でも病床稼働率や診療報酬アップが声高に唱えられるようになっておりますが、最も大切である医療の質については落とすことなく更なる向上を目指して、地域の先生方から“最後の砦”として安心してご紹介いただける診療を病棟医一丸となって続けておりますので、今後ともご指導、ご支援を何卒よろしくお願いいたします。

心臓血管内科への紹介方法

FAX 新患予約 (8:30-17:00)

紹介患者予約申込書に必要事項を記載し、FAXで予約の申し込みをお願いします。

◆医務課外来初診予約担当：FAX 099-275-6698
TEL 099-275-5168

予約申込書は下記にてダウンロードできます。
(鹿児島大学病院ホームページ→「医療関係者の方へ」をクリック)
<http://com4.kufm.kagoshima-u.ac.jp/medical/shoukai.html>

時間内 (平日 8:30-17:15)

◆緊急受診：ハートコール 099-283-9230
◆検査予約・その他：099-275-5731
(内科外来→心臓血管内科当番医へ)

時間外 (平日 17:15-8:30, 土日祝日)

◆緊急受診：099-283-9350 (救急部当直)

心臓血管・高血圧内科学

平成27年度 医局ならびに診療体制のお知らせ

- ・医局長 池田義之
- ・副医局長 高崎州亜
- ・外来医長 湯浅敏典
- ・副外来医長 樋口公嗣
- ・病棟医長 田中(窪田)佳代子
- ・副病棟医長 内匠拓朗
- ・教育担当 窪菌琢郎
- ・副教育担当 桶谷直也 赤崎雄一
- ・広報担当 桶谷直也

〒890-8520 鹿児島市桜ヶ丘8丁目35-1

◆医局 TEL:099-275-5318 FAX:099-265-8447

◆外来 TEL:099-275-5731

◆病棟 TEL:099-275-5742

Cardiovascular Medicine
鹿児島大学病院 心臓血管内科



Peutz-Jeghers 症候群に左心機能不全を合併した 1 例

鹿児島大学病院 心臓血管内科 有村俊博, 窪菌琢郎, 川添 晋, 入来泰久, 桶谷直也, 内匠拓朗, 鎌田博之, 窪田佳代子, 宮田昌明, 大石 充.

〈症例〉 28 歳 女性 〈主訴〉 労作時呼吸困難, 全身倦怠感
 〈既往歴〉 2002 年: 腸重積手術, 2009 年: 子宮異型
 〈家族歴〉 祖母: Peutz-Jeghers 症候群. 母: Peutz-Jeghers 症候群, 乳癌, 子宮癌. 父: 腎移植後 (2012 年). 妹: Peutz-Jeghers 症候群, BNP 上昇. 〈生活歴〉 喫煙 (-) 飲酒: 機会飲酒.
 〈現病歴〉 1998 年, 口唇周囲の色素沈着・上下部消化管内視鏡検査にて下部消化管に過誤腫を認め、家族歴も併せて Peutz-Jeghers 症候群と診断された。
 2011 年 8 月, ポリープ切除術が施行された際に、大腸穿孔が疑われ、術前の心エコー検査にて壁運動低下を指摘された。
 2013 年 9 月, 呼吸困難が出現し、BNP 499.8 pg/mL に上昇。心不全増悪と診断され、加療された。
 2014 年 1 月に冠動脈造影を施行されたが有意狭窄は認めなかった。以後、BNP 100-200 pg/mL で推移していたが、11 月ごろから全身倦怠感・呼吸困難が出現し、BNP 524.2 pg/mL と上昇を認めた。
 2015 年 2 月, 心不全増悪にて近医入院。内服加療を行われたが、自覚症状が持続するため、5 月、精査加療目的に当科入院となった。
 〈現症〉 身長 162.7 cm, 体重 51.6 kg, BMI 19.4 kg/m², 体温 36.5°C, 脈拍 63 回/分, 整, 血圧 117/74 mmHg, SpO₂ 96% (room air).
 頭頸部: 眼瞼結膜貧血 (-), 眼球結膜黄疸 (-), 頸静脈怒張 (-), リンパ節腫脹 (-), 甲状腺腫脹 (-). 胸部: 心音・S1→, S2→, S3 (-), S4 (-), 心雑音なし. 呼吸音・清, 雑音 (-). 腹部: 平坦・軟, 腸蠕動音聴取良好, 腹部血管雑音 (-). 四肢: 末梢血管触知良好, 両側大腿動脈血管雑音 (-), 末梢冷感 (-). 〈神経学的所見〉 特記所見なし.

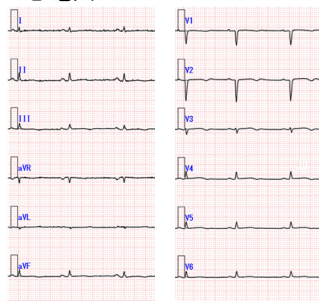
〈入院時血液検査〉
 WBC 7130 /μL, RBC 384 ×10⁴/μL, Hb 11.6 g/dL, Plt 35.2 ×10⁴/μL, AST 17 U/L, ALT 11 U/L, LDH 132 U/L, T-Bil 0.4 mg/dL, TP 6.7 g/dL, Alb 3.8 g/dL, BUN 13.0 mg/dL, Cre 0.54 mg/dL, UA 4.6 mg/dL, Na 136 mEq/L, K 4.3 mEq/L, Cl 107 mEq/L, Ca 9.5mg/dL, Mg 1.8 mEq/L, CK 37 U/L, T-Chol 176 mg/dL, TG 117 mg/dL, LDL-C 51 mg/dL, HDL-C 108 mg/dL, FBS 82 mg/dL, HbA1c 4.8 %, CRP 0.04 mg/dL, **BNP 289.9 pg/mL.**

〈胸部単純レントゲン〉



CTR 48 %

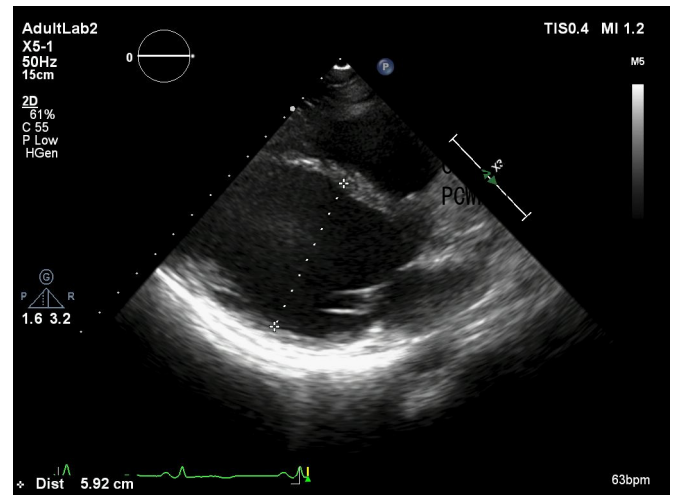
〈心電図〉



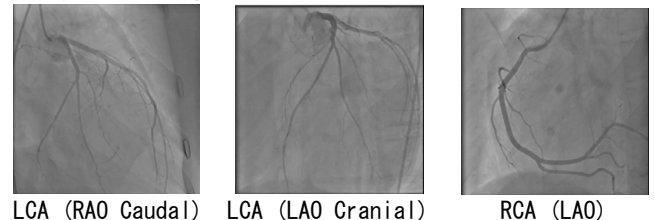
洞調律, 58 bpm

〈心エコー検査〉

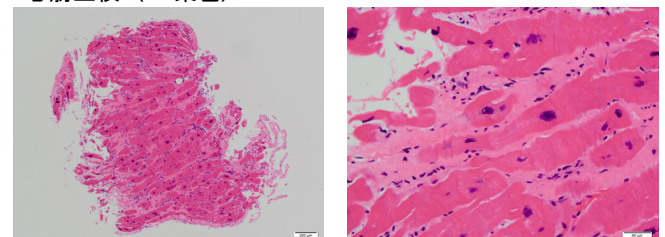
LVDd/Ds 58.4/48.4mm, LAD 32.0mm
 IVStH/PWth 9/11.1mm, LVEF (m. Simpson) 31.6%,
 MIF E/A 2.36, DcT 183msec
 E/e' septal 10.5, E/e' lateral 7.3
 軽度~中等度僧帽弁閉鎖不全症



〈心臓カテーテル検査〉



〈心筋生検 (HE 染色)〉



大小不同の核と炎症細胞の浸潤、組織の繊維化が認められる

〈考察 1〉

- ・ Peutz-Jeghers 症候群 (PJS) は、消化管ポリポースと粘膜皮膚色素沈着を特徴とする疾患である。
- ・ PJS は、様々な上皮性悪性腫瘍 (結腸直腸、胃、膵臓、乳腺、卵巣) のリスクが高いといわれている。
- ・ PJS の診断は、臨床症状に基づくが、臨床的に PJS と診断された症例のうち、家族歴のあるものでは、ほぼ全例に STK11 遺伝子の変異が認められ、家族歴のないものでも約 90% に認められる。

〈考察 2〉

- ・ PJS と心房中隔および心室中隔欠損症が合併した症例が報告されている。Genetics and Molecular Biology 2011; 34: 557-561.
- ・ PSJ と左室機能障害の合併に関する報告はない。
- ・ 本症例では、PJS と左室機能障害に伴う心不全を合併していた。家族内発生の PJS であり、BNP が軽度上昇している血縁者もいることから、遺伝的な関連性があることが示唆される。

〈結語〉

Peutz-Jeghers 症候群に左室機能不全を合併した 1 例を経験した。

＜心臓血管内科 外来担当表＞

外来医長：湯淺敏典 副外来医長：樋口公嗣

外来受付は完全予約制（午前のみ）初診・再診ともに曜日に関わらず診察いたします。

※各曜日ともに、今まで通り専門にかかわらず一般循環器診察全般をお受けいたしますが
専門的な診察・治療をご希望の患者様のために下記専門をご参照ください。

※術前精査のご依頼は、予約時にお伝えください。

※急変時や急患など、緊急に検査や治療が必要な患者様の場合は、内科外来
(099-275-5731) にお電話下さい。当番医が対応いたします。

※**専門外来のご案内**：肺高血圧(月)、冠動脈疾患(月)、高血圧(水)、末梢血管疾患
(水)、心不全(木)、不整脈(金)、心筋症(金)、
成人先天性心疾患(月・火・木)

	担当医	専門	心エコー 外来	特殊検査	当番医
月	宮田 高崎 内匠 窪田 奥井	動脈硬化・脂質異常・高血圧・心不全 成人先天性心疾患専門外来 冠動脈疾患専門外来 肺高血圧専門外来 不整脈	茶圓 (湯淺)	心筋シンチ：当番制 CPX：窪菌 トレッドミル：主治医施行	宮田
火	大石教授 宮田 湯淺 嘉川 奥井 川添(真)	教授外来・難治性高血圧 動脈硬化・脂質異常・高血圧 弁膜症・ 成人先天性心疾患専門外来 女性外来 不整脈 術前・循環器一般	堀添 茶圓(AM) 高崎	トレッドミル：主治医施行	湯淺
水	宮田 高崎 池田 窪田 赤崎	動脈硬化・脂質異常・高血圧 弁膜症 末梢血管疾患専門外来 肺高血圧(再診) 高血圧専門外来	堀添	トレッドミル：主治医施行	高崎
木	桶谷 湯淺 窪菌 奥井 茶圓	不整脈 弁膜症 心不全専門外来 不整脈 弁膜症・ 成人先天性心疾患専門外来	堀添 高崎	心筋シンチ：当番制 CPX：窪菌 トレッドミル：主治医施行	湯淺
金	大石教授 桶谷 窪菌 赤崎 樋口	教授外来・難治性高血圧 不整脈専門外来 心不全・心臓リハビリ 高血圧・動脈硬化 心筋症専門外来	茶圓 (湯淺)	トレッドミル：主治医施行	赤崎

(平成 28 年 2 月現在)

異動のご挨拶

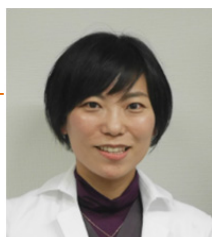
小瀬戸一平 先生
(平成 13 年入局)



平成 27 年 9 月より鹿児島大学病院心臓血管内科に異動となりました。これまで鹿児島医療センター、藤元総合病院などで虚血性心疾患や末梢動脈疾患の患者様を中心に診療して参りました。

これからもこれまで同様、地域医療に貢献出来るよう頑張りますので宜しくお願い申し上げます。

小島聡子 先生
(平成 21 年入局)



平成 21 年入局後、鹿児島医療センター、阿久根市民病院、鹿児島赤十字病院で勤務し、平成 27 年 10 月より鹿児島大学病院へ異動となりました。

これまで勉強させて頂いたことをしっかりと心に刻み、少しでも地域医療のお役に立てるように頑張ります。今後とも御指導・御鞭撻の程、宜しくお願い申し上げます。

岩谷徳子 先生
(平成 22 年入局)



平成 22 年に入局後、鹿児島医療センター、垂水中央病院、鹿児島市立病院を経て、2015 年 10 月より鹿児島大学病院心臓血管内科へ異動となりました。

まだまだ勉強中の身ですが、地域医療のお役に立てるよう精進して参りますので何卒よろしくお願いいたします。

学会開催のご案内

3 月 5 日(土)、鹿児島大学医学部鶴陵会館にて『第 26 回日本老年医学会九州地方会』が開催されます。

<http://www.congre.co.jp/26jgs-k/index.html>

第 26 回
日本老年医学会九州地方会

会期：2016 年 3 月 5 日 (土)
会場：鹿児島大学医学部 鶴陵会館 (鹿児島市桜ヶ丘 8-35-1)
会長：大石 充 (鹿児島大学大学院心臓血管・高血圧内科学)

事務局 (鹿児島大学大学院医学総合研究科 心臓血管・高血圧内科学
〒890-8520 鹿児島市桜ヶ丘 8-35-1 TEL: 099-275-5318 FAX: 099-265-8447
E-mail: ichina@w2.kufu.kagoshima-u.ac.jp)

病診連携の会 今後の予定

第 2 回桜ヶ丘循環器カンファレンス (全体会)

2016 年 4 月 23 日(土) 16 時より
鹿児島県医師会館にて

<編集後記>

今年度最後の病診連携広報誌をお届けします。

4 月からは新年度のスタッフ交代があって、次号は私が担当かどうかは定かではありませんが、引き続き担当してくれる有能な広報担当ラボランチンの下福さんは永遠の広報担当ですので来年度もよろしくお願いたします。4 月には病診連携の会であり、第 2 回桜ヶ丘循環器カンファレンスも予定しておりますので是非ご参加ください。

桜ヶ丘 Heart Club 第 7 号
平成 28 年 2 月 20 日発行
発行者：大石 充 編集：桶谷直也

